

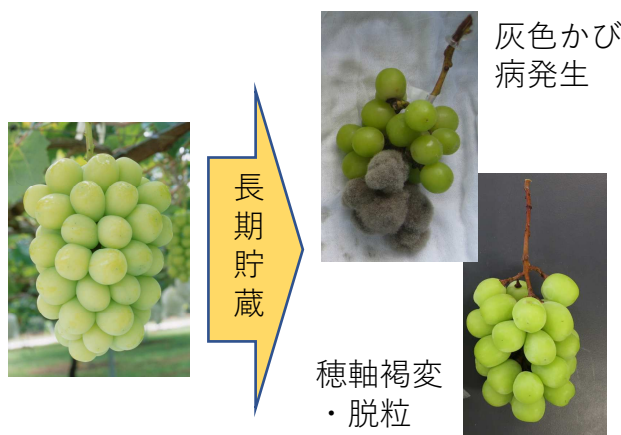
国際競争力強化技術開発プロジェクト 春節に向けたシャインマスカット輸出を拡大する長期貯蔵技術の開発 【研究概要図】

1. 研究目的

輸出相手国の残留農薬基準を満たす「シャインマスカット」の防除暦の策定、長期鮮度保持・輸送技術の開発を行うことにより、貯蔵果実の秀品率の向上、フードロスの低減を図り、輸出拡大による増収増益をもたらす。

2. 研究背景

「シャインマスカット」は、国内のみならず、海外でも高い評価を得ており、今後の輸出拡大が期待される。中華圏の春節に向けた輸出を行うには、相手国の残留農薬基準をクリアするとともに、灰色かび病による貯蔵病害等の障害果発生を長期間抑制する技術を組み入れた、安定的な長期鮮度保持技術および輸送中の脱粒防止技術等の開発が不可欠である。



3. 研究内容

- ①輸出相手国の残留農薬基準を満たす防除暦策定のため、残留農薬分析および防除暦案の改訂実証を行う。
- ②灰色かび病等による貯蔵病害発生を抑制するため、防カビ資材の効果を確認、実証する。
- ③長期鮮度保持及び安定した輸送の実現のため、包装及び緩衝資材の検討、船便による輸送実証試験を行う。



4. 達成目標・期待される効果

達成目標

- ・残留農薬基準を満たす防除暦案を2つ以上策定
- ・灰色かび病等による障害果率を30%以上軽減する長期貯蔵技術の開発
- ・輸送後果実の秀品率60%以上の実現



期待される効果

- ・植物検疫における検査不合格のリスク回避
- ・フードロスの低減
- ・「シャインマスカット」輸出拡大による増収・増益

研究代表機関：農研機構植物防疫研究部門
山形県農業総合研究センター園芸農業研究所、小島プレス工業株式会社
共同研究機関：農研機構果樹茶業研究部門